

	カテゴリー	きっかけ	キーパーソン	取組の展開	地域の変化
静岡県浜松市 (砂川集落協定)	集落協定の連携_広域化等	高齢化や事務負担に対応するため、6協定を統合	若手農業者が茶畑を集約し、協定事務を引き受けるなど、若手を中心とした体制を構築	若手農業者を中心に有機JAS認証の取得、茶葉の加工・販売など重要な取組を推進	非農家住民等が清掃や出荷に携わることで若手農業者を支え、地域一丸で茶葉の生産・販売を実施
福井県高浜町 (山中農地保全組合)	集落協定の連携_広域化等	サルによる作物被害が深刻化し、住民の生活も脅かされていた	町内会長の呼びかけにより、集落の寄合を活用して、住民一人ひとりがサルの追い払い研修に参加	住民のほとんどが爆竹や花火を用いたサルの追い払いを行うようになり、サルによる被害が減少	住民のほとんどが追い払いに参加し、成果を実感したことで、住民が一体となった保全活動が可能となった
石川県小松市 (上麦口町集落協定)	集落戦略	若い世代の流出への危機感から、国際ボランティアの受入(ワークキャンプ)を開始	ワークキャンプ参加者が鳥獣害防止柵の整備や雑木の伐採などの作業で、マンパワーとして活躍	豪雨災害時、キャンプ参加者がボランティアに駆け付けるなど、地域との切れない「縁」を形成	ワークキャンプ参加者の中から2名の若者が地域に移住
新潟県佐渡市 (下川茂集落協定)	加算措置	市の社会福祉協議会が高齢者の生活支援事業を行うも、ボランティアの確保に苦慮	地域を良く知る集落協定が住民に働きかけ、見守り隊を結成	地区の全戸が見守り隊に加入し、住民の協力により住民の困りごとに対応する体制を整備	異変への迅速な対応が可能となったほか、景観を維持する活動を行う人が増加
石川県七尾市 (大泊町中山間事業組合)	加算措置	協定構成員の約半数に当たる16人が非農家であり、集落全体で草刈りや水路の泥上げを実施	漁師などの非農家の若者4名が荒廃農地の保全や畦畔の修繕を行い、協定は作業日当を支払い	荒廃農地3haの管理が可能となり、協定農用地として追加	非農家の若者4名が農地の保全活動に参加し、収入の確保と地域の農地保全によるウィンウィンの関係を構築
愛媛県東温市 (奥松瀬川集落協定)	加算措置	地区でワークショップを開催し、①知名度、②高齢化、③荒廃農地の3つの課題を洗い出し	地域おこし協力隊員のコーディネートにより、地域運営組織を立ち上げ、交流農園、自然体験教室等の取組を開始	地域の女性のアイデアを取り入れてイベント内容を充実	地域内外の様々な人や組織を巻き込み、活動・交流の輪が広がり、荒廃農地1.5haを解消 <sup>0</sup>